



水戸市男女平等参画基本条例の啓発と  
男女平等参画社会の形成と促進のために

WAVE 第5号

発行日：2011年12月31日  
発行：特定非営利活動法人  
M・I・T・O 21  
〒310-0851 水戸市千波町 508-34  
発行責任者：黒澤輝子

### 第3回通常総会開かれる 5月14日(土)午後3時より

3.11 東日本大震災の影響で公的施設の被害により、開催場所に苦慮したが、完成したばかりの水戸市桜川市民センターを会場に水戸市男女平等参画課課長の野澤昌永氏、市議会議員伊藤充朗氏、顧問の静間敏子氏、酒井はるみ氏をお迎えして第3回通常総会が開催されました。

2010年度の事業報告及び収支決算報告、2011年度事業案及び予算案は満場一致で可決され、その他の事項として、災害と復興男女共同参画6,11実行委員会の参画については資金協力カンパを承認いただきました。

田山知賀子氏と酒井はるみ氏に実行委員として関わっていただき、情報を得ていくことになりました。



### 「かしこいケータイの使い方講座」第1回全体会(7月14日開催)

「通話とメールだけじゃもったいないかも！」というサブタイトルで、普段とはちょっと違ったケータイの使い方や隠れた機能を紹介しました。特に最初に紹介した「文字を大きくする」というシンプルな機能は是非使っていただきたいと思います。少し文字が大きくなるだけで携帯電話との距離がグッと縮まります。もう携帯電話を開く度にメガネを掛けたり、遠くに離したりする必要はありません。

最近スマートフォンという言葉をよく耳にするようになりました。「難しそう」と誰もが感じていますが、実はそうでもないです。スマートフォンはなんと「鍋料理」に似ています。具材(機能)として何を入れるか、



どのように(設定)入れるかで家庭料理(一般用)にもなれば料亭の味(ビジネス用)にもなります。家庭によって味付けが異なるように、スマートフォンも持つ人によって様変わりします。通話とメールだけでもりっぱなスマートフォンの使い方です。スマートフォンの特徴としては、ボタンが少ない、画面が大きい、写真が綺麗などが挙げられます。これまでの携帯電話のように余計な機能がなく、思ったよりもシンプルで優しいのがスマートフォンなのです。次の機種変更で検討されてはいかがでしょうか。

でしょうか。また東日本大震災では携帯電話の充電に苦勞された方も多いと思います。特に役立つのはカーチャージャー(車のシガーソケットから充電できるもの)です。車で移動する度に充電でき、家族や職場との連絡が途切れることなく震災を乗り切ることが出来ました。今では手動式やソーラーパネル式など様々な充電機器が発売されています。重要な防災グッズとして何か一つは備えておきたいものです。藤田幸宏



## 森のパン教室で楽しい一日 2011年7月30日 9時から13時まで

水戸市森林公園内のパン教室で、夏休み多世代交流会夏休み思い出作りと親子パン教室が行われました。

大人15名子ども13名でにぎやかに米粉のマフィン、ピザ、ラスク、ヨーグルトデザートなどを、粉を計り卵を割って、ボールの中に混ぜてこねて、汗をふきながら野菜を洗い刻んで、ピザ生地をたたいてのばして、ソースをつけて野菜やチーズをトッピング、

テーブル毎にオリジナルなものもできて、個性がでます。オープンに入れる時は大人の仕事、子どもたちでヨーグルトのデザートを作りました。



果物を切り分けて、カップごとにヨーグルト、ブルーベリー、パイナップル、アンズなどを入れて、ジャムを添え、お運びも子どもたちがしました。お飲み物は冷たいプラムやシソジュース、温かいゆず茶など用意しました。

テーブルに出来上がった野菜たっぷりピザやマフィン、季節の果物をのせて、どうぞ召し上がれ！！

教室の先生もびっくりするほどみんな手際がよく、美味しくできました。今回はパパの登場は少なかったけれど、

ママとママ友だちが、子どもたちと粉だらけになりながらの一日でした。水戸市森林公園の交流センターの体験ツールはパン作りだけではなく、そば打ち、こんにゃく作りや木工細工、昆虫採集など色々あるので、どうぞ体験してみてください。

「水戸の宝さがし」としての企画でもあり、参加した皆様 何か“宝”を見つけましたか？

### パン作り講座に参加して

黒澤 輝子

7月30日(土)水戸市内の小学校や幼稚園では夏休みが始まったばかり。私は近くに住む孫を二人連れて参加しました。二人とも料理をすることが大好きで、その日は朝から待ちどおしでした。

鈴木美智先生の指導でピザ、カップケーキ作りに挑戦。小学5年生の孫(男)はピザの生地を叩いたり伸ばしたりして大奮闘、幼稚園生の孫(女)は慣れない手つきでたまねぎを切ったり、二人とも楽しそうにやりました。その様子を見てみると、自分が子育てをしていた頃のことを思い出しました。あの頃はなんとせっかちなことだったか。「早くしなさい、危ないからだめ」。すぐにそんな言葉が口をついで出たのはいなかったか、今頃になって反省することばかりです。

できあがったピザを試食しましたが、自分たちで苦労をして作ったものは本当においしかったです。家に帰ってから孫たちは両親にどんな話しをしたのでしょうか。

夏休みの一日、森林公園のなかでのピザ作りは二人にとって貴重な体験だったようです。5年生の孫の話では、今では包丁を持つことにもすっかり慣れてひとりでチャーハンを作ったとって写真をみせてくれました。





## 水戸市男女平等参画月間事業

平成23年度男女平等参画月間事業の開催にあたり、9月4日水戸市内原中央公民館オープニングの「男女平等参画映画祭」の会場で表彰式が行われました。

水戸市男女平等参画社会づくり功労賞に本会理事の田山知賀子氏が受賞されました。



長く水戸市議会議員時代には、水戸市男女平等参画基本条例の施行に尽力され、昨年のヒューマンライフシンポジウムではコーディネーターをつとめられました。

また男女平等参画推進月間写真コンテストでは会員の大内晴江氏、西連寺節子氏が受賞され、映画会には本会会員も多く参加し、受賞を喜び合いました。



## 「水戸っぽ魂を育てる！！」講座 9月11日

映画「桜田門外ノ変」の制作など茨城県のイメージアップに活躍されている、橋川栄作さんのお話しをお聞きしました。



①相馬雪香さんに学ぶ「あなたは子どもに何を伝え残しますか」  
憲政の神様と言われた尾崎行雄氏の三女。「難民を助ける会」結成会長を努めるなど、多くの人々に影響を与えた相馬さんの生き方から、特に子育てに関する言葉「子どもを人間として見つめること。つねに自分で考えさせること」  
「相手を変えようと思ったら自分を変えよう」など、当たり前のことながらつついおろそかにしまいがち言葉に日常をふり返らせるお話しでした。

②これから・・・「桜田門外ノ変」で地域を元気に。  
一映画作りから始まる地域作り一

人材育成と併せ、自然と文化に恵まれた環境を活かし、地方から始まる「平成まちづくり維新」の実践を、市民の力を結集して発信することが、地方発の日本再生プログラムであると話されました。(兼子記)





NPO 法人くらし協同館なかよしの設立ミッションは住民主体のボランティア活動集団として人々が安心して暮らせる町づくりのため、「ふれあい」「生きがい」「支えあい」をテーマに

1. 近くで日常的な食品のかえる場所
2. 食事や喫茶サロン・交流ができる場所
3. 近くで趣味活動が出来る場所
4. 近くで講習会などが受けられる場所
5. 高齢者が元気に過ごせ・全世代が楽しく交流できる場所など“みんなのたまり場”を作り上げようと地域住民がボランティアで活動している。



なかよし店内を見学中

周囲 1,000 戸の団地で突然店が閉店になったら、高齢世帯になりつつある住民は生活基盤がなくなり困ったことだろう。生協の店の支援と地域の課題に住民自らが真剣に取り組む組織として誕生したことはいかに多くの情熱人がいて、大きな塊になって成功したのは地域住民の土地柄だろうか。自宅の「近い」ところで買い物や交流や趣味や勉強が出来れば買い物難民やとじこもりやもなくなり、趣味で作った作品が販売できたら、是もまた生きがい作りに大いに役立つ事だろう。



喫茶サロンでお話を伺う

**NPO法人くらし協同館なかよし\*メモ\***

設立は平成17年10月 ひたちなか市馬渡

正会員・賛助会員ともに一口1,000円以上

開館日 月曜~土曜 am10時~pm6時

(冬期5時まで)

休館は毎日曜と年末・年始

ボランティアに参加の活動会員は100余名、自分の得意な分野の事業に自主参加して、互いに助けあって都合のつく任意の日時で活動している。

一人に仕事や権威が集中することなく、平等に参加することも心がけている体験談に人として知恵が発揮されている事に素晴らしさを感じた。

また3月11日の震災の日には停電の中、住民の要望に電卓片手にある商品を販売し、井戸のある家から水をもらい困っている家庭に配り、困りごとの情報発信の拠点となった。

本日の講座は、ハーモニカ、コーラス教室、個人レッスンの裂き織は和室で楽しい時を紡ぐ。

店には野菜や地域の会員が作った加工品、すぐに食べられる太巻き寿司やポトフ、惣菜が次々と出来上がり、店頭に並べられ買って行く人、サロンでは食事やお茶もOK、一人暮らしでも安心なコミュニティスペースとして賑わっている。

店の前では自主的にプランターに花を植えて、働いている、そこに集まる誰もが、支えあって誰かのために働く場所がある。そんな風景でした。

池田 寿美子

気になる講座 しまい支度を考える  
エンディングノートの作り方や相続、税金などを学んでみませんか！今年度中に開催予定



## 会員の声 この頃想うこと 郡司 敏枝

今年は、政治経済をはじめ、いままでに体験したことのない天変地異もあり、激動の一年でした。

思い出しても身がふるえ胸が痛みます。来年は平穏無事でありますように…。

10月21日、仙台の被災地をびよんど登録団体の方々と一緒に訪問しました。未曾有の震災復興にかける地域のみなさまのご尽力には心より敬意を表しました。

その折り、案内して下さったのはみやぎNPOプラザの方でした。



現地研修に参加した会員たち

10数年前にNPO法人を立ちあげ、ボランティア・市民団体活動のあらゆる情報を掲載した「杜の伝言板ゆるる」を毎月発行、市民みんなで共有していることでした。それらのつながりにより、信じ、支えられ、前向きに歩き始められたとのことでした。

人間は、ひとりでは生きられない。地域が幸せの縁を育てている。それは血縁・職縁・地縁・友縁であり、この頃の社会は、この四つの縁が変化し弱くなってきている。情報の提供、情報を共有することで地域を共に創り協働の力で共援する。こうして、縁を深め、人と人のつながり、地域とのつながり、会社や企業とのつながり、そのつながりが深まっていくことで新しい力強い茨城の絆が創られるのだと。

そのような長谷川幸介先生のお話を思い出しました。(因みに2011年の世相を表す漢字は「絆」でした。)

昨年9月、大好きいばらき県民会議に水戸市ネットワーク連絡協議会が発会しました。県内市町村で最も遅い発会でした。共創・協働・共援の理念のもと、試行錯誤しながら活動しています。私はワーカーや各種団体、ボランティア、グループ等が新しい絆でつながり活動できるといいなと思っております。来年もよろしく願いいたします。

## 今年もっとも勇気づけられたこと…

なでしこジャパン活躍は日本中の人々の心を和ませ、元気づけました。3.11以来日本中が暗い話題の中、日本女子サッカーチームのWカップ優勝は明るいニュースのひとつでした。澤穂希選手はチームを引っ張り、ロンドン五輪でも頂点を目指す。彼女の持っている「力」の順位を自己評価すると…

1. 決断力
  2. 行動力
  3. 持続力・忍耐力
  4. 運
  5. 協調性
  6. 独創性・ひらめき
  7. 体力
  8. 分析力・洞察力
  9. 集中力
  10. 語学力
- さてあなた自身はどんな力が備わっているのでしょうか？

### 2012年1月14日にヒューマンライフシンポジウム2012開催、

水戸市出身の俳優渡辺裕之氏が「水戸っほ！ファイト！！」をテーマに講演される。トーク&トークではフリーアナウンサーの渡辺美奈子氏をコーディネーターに茨城県副知事山口やちゑ氏、水戸商工会議所青年部会長畑岡謙一氏と渡辺裕之氏の3人が「人・家族・地域・絆…私ができること」を話されます。場所は初めての会場水戸駅北口エクセル6Fホール。震災の影響で収容人数が250名。入場整理券が必要です。松が明けて間もない時期だけに多くの参加者を募っています。申し込みは水戸市男女平等参画課 TEL226-3161

### 編集後記

年間の活動報告が中心の会報になってしまいました。もっとアイデアを盛り込みたいと思いつつも、企画力、技術力、文才と能力のレベルはなかなか向上しません。次号はセンスある若い力を募集しております。

事務局 TEL090-8010-2001